令和７年度　事業報告

＜公益目的事業の実施＞

この法人は、進路指導・キャリア教育の普及発展に寄与することを目的として、令和７年度は定款第４条に掲げる下記の事業を行った。

(1) 進路指導・キャリア教育に関する研修会・講演会、研究協議会等の開催

①第７３回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会の開催

［別紙　資料１－１・２］

機関誌「進路指導・キャリア教育」９８巻-３号・９８巻-４号に掲載

○参加人数２８１名

②キャリア教育研修講座（全６回実施）［別紙　資料２］

○参加人数８１名

(2) 進路指導・キャリア教育に関する調査研究

研究委託校の委嘱による調査研究

全国都道府県教育委員会・指定都市教育委員会等の推薦を受けて研究委託校を指定し、教育現場における進路指導諸問題の調査研究を推進した。

◆　令和６・７年度研究委託校

- 東京都町田市立小中一貫ゆくのき学園

（機関誌「進路指導・キャリア教育」９８巻 - １号）

- 東京都練馬区立南が丘中学校

（機関誌「進路指導・キャリア教育」９９巻-２号掲載予定）

(3) 進路指導・キャリア教育に関する図書、資料、雑誌の出版及び推薦

①機関誌「進路指導・キャリア教育」の出版・推薦

協会発足の昭和２年に機関誌「職業指導」として発刊を始め、昭和39年から「進路指導」と名を変えて出版・刊行してきた。平成20年から月刊を季刊に改めた。令和6年夏季号(97巻2号)から誌名を「進路指導・キャリア教育」と改称し、継続し全国小・中・高・大等現場の教育者への購読を推奨してきた。

第98巻　第２号(夏号・令和７年６月１日)
第98巻　第３号(秋号・令和７年10月１日)
第98巻　第４号(冬号・令和７年12月１日)
第99巻　第１号(春号・令和８年３月１日)

発行部数はいずれも１，０００部

②　副読本「中学生活と進路」の推薦

「中学生活と進路」の採択・普及に努めた。

③　その他の書籍の出版・推薦・普及

文部科学省（旧文部省）の刊行物では「中学校・高等学校進路指導の手引（各編）」

及び「中学校（高校学校）進路指導資料（第2･3分冊)」について、広く全国の進路指導関係者に頒布・推薦してきた。

すでに刊行している日本における進路指導の成立と展開、小学校キャリア教育実践講座（三村隆男著)、キャリア教育Ｑ＆Ａワーク（中学校編・鹿嶋研之助監修)、キャリア教育のエッセンス（吉田辰雄監修）の普及に努めた。

(4)令和７年度　協会賞・会長感謝状表彰の授賞者の選定について

- 令和７年６月２７日(金)協会事務室にて協会賞選考委員会を開催し、選考した。
  - 受賞団体は、機関誌「進路指導・キャリア教育」（９８巻－３号)に掲載。
    公益財団法人日本進路指導協会賞贈呈団体
    全九州中学校進路指導・キャリア教育研究協議会
- 令和７年６月２７日(金)協会事務室にて会長感謝状贈呈者選考委員会を開催し、選考した。
  - 受賞者は、機関誌「進路指導・キャリア教育」（９８巻－３号)に掲載。
    公益財団法人　日本進路指導協会会長感謝状贈呈者
    伊藤　学　秋田市立築山小学校　校長
    前　秋田県小中学校進路指導研究会　会長
    津崎　雄二　愛知県立愛知総合工科高等学校　教諭
    本間　啓二　日本体育大学　名誉教授
    日本キャリア教育学会　名誉会員
    松尾　拓也　千葉県立大網高等学校　教諭

(5)進路指導・キャリア教育に関する関係諸団体との連絡提携

①進路指導・キャリア教育研究協議全国大会における連携

前記の全国大会の開催については、その計画・立案の段階から、全国小学校キャリア教育研究協議会(以下全小キャリアという)、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会（以下全中進という)、全国高等学校進路指導協議会（以下全高進という)、並びに日本キャリア教育学会（以下学会という）との密接な連携のもとに進めており、第10回全国小学校キャリア教育研究協議大会、第47回全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会、第49回全国高等学校進路指導研究協議大会を兼ねる形で実施した。

また、この事業は文部科学省の後援の他、次の諸団体の後援をいただいた。

東京都教育委員会　　全国都道府県教育長協議会　　全国連合小学校長会
全日本中学校長会　　全国高等学校長協会　　日本私立中学高等学校連合会

②キャリア教育研修講座の実施についての連携

文部科学省の後援をいただいて実施、講師の派遣についても協力を得た。

全国小学校キャリア教育研究協議会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会から講師等の推薦をしていただいた。

③機関誌「進路指導・キャリア教育」の編集についての連携

機関誌「進路指導・キャリア教育」は何よりも現場教師の指導に役立つものでなければならない。そのため小・中・高の進路学習の実践モデルを連載するなど、新企画の編集について全中進・全高進の積極的な協力を得て推進した。

④日常活動における関係団体との連携

研究活動はもとより、必要な情報の交換・共有等のため独立行政法人労働政策研究・研修機構、(公財)産業雇用安定センター、全国商業高等学校長協会、(公社)全国工業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会、(公財)産業教育振興中央会等多くの関係団体との連携を図った。

(6)進路指導・キャリア教育に関する資料の収集及び展示

①研究委託校の調査研究資料の収集・展示

研究委託校における研究成果は、２か年の委託期間が満了した折、報告書として提出される。その資料は一部を機関誌「進路指導・キャリア教育」で紹介し、他は整理・保管し、関係者の求めに応じて閲覧に供してきた。

②研究協議会等における資料の収集・展示

全国大会あるいは地区進路指導・キャリア教育研究大会等に出席の折、進路指導・キャリア教育の資料収集や協会出版物の展示・頒布に努めてきた。

- 第６６回北海道キャリア教育・進路指導研究大会参加
  [音更町立緑南中学校・令和７年９月 11 日㈭]
- 第３１回全国進学指導研究大会(中国大会)参加
  [海峡メッセ下関・令和７年 10 月２日㈭・３日㈮]
- 第５２回関東地区高等学校進路指導研究協議大会群馬大会参加
  [共愛学園前橋国際大学・令和７年 11 月 14 日㈮]
- 第６２回全九州中学校進路指導・キャリア教育研究大会鹿児島大会参加
  [カクイックス交流センター・令和７年 12 月５日㈮]
- 第１２回　全国小学校キャリア教育研究協議会静岡大会参加
  [静岡市立中田小学校・令和８年２月６日㈮]

(7)進路指導・キャリア教育に関する研究委託校の決定と指導・援助および助成

①研究委託校の選定

公益財団法人日本進路指導協会研究委託校規程に基づき、都道府県・政令指定都市の教育委員会に推薦を依頼して委託校を決定した。令和６・７年度研究委託校は、下表のとおりである。

- 東京都町田市立小中一貫ゆくのき学園(令和７年２月 17 日(月)研究発表会)
  「夢をもち たくましく しなやかに生きる 子どもの育成」
  ～自己の生き方を見つめ、協働しながら深めるキャリア教育の推進～

- 東京都練馬区立南が丘中学校
  「時代に応じた人材育成を図る、３年間を見通したカリキュラムの構築」
  ～キャリア教育を通して、総合的な学習の時間や特別活動を利用し、
  生徒の非認知能力を高める実践～

②研究委託校への指導援助と助成

研究委託校の要請に基づいて、研修会、発表会・研究会等に指導のための講師を派遣し、その経費(30,000円)を補助している。

(8)児童・生徒の進学・就職に関する進路選択等の指導・援助

年間を通して進路選択に関する本人あるいは保護者の相談は多い。電話による相談が大半であるが、時には来所相談もある。本人の在籍校で相談を深めることを基本として、それぞれの悩みに対応した指導援助にあたってきた。

- 江戸川区立春江中学校で２年生に進路講話を行った。
- 台東区立忍岡中学校で１年生に進路講話を行った。

(9)進路指導・キャリア教育に関する政府の諮問に応ずること。政府その他機関に対する意見の提出

文部科学省の施策に全面的に協力する立場から、常に教育現場に生ずる進路指導・キャリア教育上の問題を把握し、必要に応じて参考意見を述べ、調査研究に協力してきた。

(10)その他目的を達成するために必要な事業

小学校キャリア教育研究協議会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会、その他諸関係団体と協力し、進路指導・キャリア教育の普及発展に努めた。

＜運営体制の充実を図るための取組＞

(1)評議員選定委員会による評議員の選任

９名の評議員が任期終了となるため、定款第１２条に定める評議員選定委員会を令和７年５月２２日（木）に開催し、８名の評議員を選任した。再任が７名、新任が１名である。

委員会は、評議員１名、監事１名、事務局員（当協会常勤職員）１名、外部委員２名で構成した。

(2)理事及び監事の選任

理事及び監事が任期終了となるため、定款第１６条の定めにより、令和７年５月２２日（木）評議員会において、８名の理事及び２名の監事を選任した。

理事は７名が再任、１名が新任、監事は２名とも再任である。理事のうち５名、監事２名が外部理事及び外部監事で、事業で連携している全中進等からの推薦による。

資料1-1

令和７年５月

各　都道府県教育委員会教育長　様
各　区市町村教育委員会教育長　様
各　校長　様
各　関係者　様

公益財団法人日本進路指導協会
会長　田中　壮一郎

新緑の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、本年度の進路指導・キャリア教育研究協議全国大会を下記のように開催します。
つきましては、多くの皆様のご参加をお待ちいたします。

記

第７３回　進路指導・キャリア教育研究協議全国大会　開催要項
第１０回　全国小学校キャリア教育研究協議大会
第４７回　全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会
第４９回　全国高等学校進路指導研究協議大会

１．主　　催　　公益財団法人日本進路指導協会

共　　催　　全国小学校キャリア教育研究協議会　　全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会
全国高等学校進路指導協議会　　日本キャリア教育学会

後　　援(申請予定)　　文部科学省　　東京都教育委員会　　全国都道府県教育長協議会
全国連合小学校長会　　全日本中学校長会　　全国高等学校校長協会
日本私立中学高等学校連合会

２．主　　題　　「進路指導・キャリア教育の一層の充実を目指して」

４．会　　期　　令和７年７月３１日(木)、８月１日(金)の２日間

５．会　　場　　国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町３－１　　電話：03-3469-2525

小田急線：参宮橋駅下車　徒歩約７分

地下鉄千代田線：代々木公園駅下車(代々木公園方面４番出口)　徒歩約10分

京王バス：新宿駅西口(16番)より 運行系統「宿51 渋谷駅行」

・　代々木５丁目停留所 下車 徒歩約１分

渋谷駅西口(40番)より 運行系統「宿51 新宿駅西口行」

・　代々木５丁目停留所 下車 徒歩約１分

6．日　程・時　程

◆　第１日　７月３１日(木)　［受付・開会式・記念講演　カルチャー棟　小ホール］

9:00　9:40　10:10　11:30　13:00　16:00

受付	開会式	記念講演	昼食・休憩	分科会・研究協議

◎　**記念講演**

筑波大学　教授
日本キャリア教育学会　会長
元 文部科学省　初等中等教育局　教育課程課 教科調査官
藤 田　晃 之 先生

◆　第２日　８月　１日(金)

9:00　11:50　13:00　16:00

分科会・研究協議	昼食・休憩	全体研究協議会

7．申 込 先　　(公財) 日本進路指導協会　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町 1-8-1　親和ビル
TEL　03-5280-7013　　FAX　03-5280-7018　　E-mail　nihon-shinro@z-shinro.jp

8．分科会・研究協議

◆　第１日　７月３１日(木)　１３：００～１６：００　分科会・研究協議［センター棟］

分 科 会	協　議　分　野
第１(中学校)	「進路学習・キャリア教育の計画と実践」
第２(高等学校)	「進路学習・キャリア教育の計画と実践」
第３(中学校)	「中学校における進学・就職への指導・援助の在り方」
第４(高等学校)	「大学・短期大学・専修学校など進学への指導・援助の在り方」
第５(中学校)	「中学校におけるキャリア教育の在り方」
第６(高等学校)	「高等学校における就職などへの指導・援助の在り方」
第７(小学校)	「キャリア教育の計画と実践」

◆　第２日　８月　１日(金)　　９：００～１１：５０　分科会・研究協議［センター棟］
１３：００～１６：００　全体研究協議会［センター棟］

		協　議　分　野
午前	小学校・中学校	小学校・中学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決
	高　等　学　校	高等学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決
午後	全体研究協議会	学校におけるキャリア教育の推進

7．参 加 費　　無　料　　(参加者には、必ず資料を購入していただくことになりますので、ご了承ください。
なお、資料代は３，０００円となります。当日、受付で納入してください。)

8．申込方法　　①　氏名　②　所属・職名　　③　希望分科会を明記し、はがき及びFAX、
E-mail：nihon-shinro@z-shinro.jp　QRコードで、
7月18日(金)までに申込みください。

※　変更が生じることがあります。ホームページでのご確認をお願いします。
公益財団法人日本進路指導協会　https://www.shinro-shido.com/

◆ 第１日目　７月３１日(木)　１３：００～１６：００　センター棟

第１分科会：進路学習・キャリア教育の計画と実践　(中学校)	会場：513号
提案発表	「society5.0を生き抜く力を育成するキャリア教育の取組」 東京都葛飾区立四ツ木中学校 教諭　細田　敬太郎・教諭　藤平　和樹・教諭　船越　日向子 「『心』～魅力ある生徒の育成～ 学校外の教育資源を積極的に活用したキャリア教育」 大阪府大阪市立白鷺中学校　教頭　江角　俊幸
司会	東京都大田区立大森第七中学校　校長　佐藤　圭一
指導助言	日本進路指導協会　理事・東京音楽大学　客員教授　関本　惠一
運営	東京都荒川区立第四中学校　主幹教諭　伊藤　要輔
記録	東京都台東区立忍岡中学校　主任教諭　星野　こずえ

第２分科会：進路学習・キャリア教育の計画と実践　(高等学校)	会場：309室
提案発表	『経験は力なり』　～地域と連携したキャリア教育『茂高街塾』の取組～ 千葉県立茂原高等学校　教諭　太田代　里子 悔いの無い（少ない）キャリア教育を目指して 香川県立高松南高等学校　教諭　濱松　勝之
司会	東京都立杉並高等学校　校長　松田　晴美
指導助言	東京学芸大学学生キャリア支援室　特命教授　野口　敏朗
運営	千葉県立大網高等学校　教諭　松尾　拓也
記録	東京都立晴海総合高等学校　非常勤教員　浦部　ひとみ

第３分科会：中学校における就職・進学への指導・援助の在り方(中学校)	会場：310室
提案発表	合理的配慮の申請を通した「自己理解・自己管理能力」の育成 ～　「キャリア・カウンセリング」「基礎的・汎用的能力」の視点から　～ 東京都杉並区立井荻中学校　大森　拓 「地域社会と連携した組織的「キャリア発達」の支援 ～企業ミッション型PBL(課題解決型学習)を通して～」 沖縄県糸満市立三和中学校　教諭　上原　ルミ子 沖縄県糸満市教育委員会　生涯学習課　キャリア教育推進員　松本　直子
司会	東京都大田区立大森第三中学校　副校長　五十嵐　弘毅
指導助言	早稲田大学大学院　教育学研究科　元客員教授　岩永　章
運営	東京都大田区立大森第七中学校　主幹教諭　福岡　哲史
記録	東京都墨田区立吾嬬第二中学校　主任教諭　伊藤　浩和

第４分科会：大学・短期大学・専修学校などへの指導・援助の在り方(高等学校)	会場：501室
	挑戦の先に見えた進路指導の可能性～「行ける大学」から「行きたい大学」へ～ 岐阜県立多治見北高等学校　進路指導主事　上田　泰彦 アントレプレナーシップ教育によるキャリア教育と進路実現－「三刀流」の進学指導とともに－ 佼成学園中学校・高等学校　教頭　簗瀬　誠
司会	大東文化大学第一高等学校　校長　橋本　準一
指導助言	全国普通科高等学校長会　事務局長　佐藤　到
運営	東京都立東久留米総合高等学校　主幹教諭　小出　和代
記録	千葉県立千葉商業高等学校　教諭　竹田　大起

第５分科会：中学校におけるキャリア教育の在り方	会場：311室
提案発表	「コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かしたキャリア教育の充実」 山口県宇部市立常盤中学校　校長　佐々木　英樹 「教科指導を中心としたキャリア教育の実践」 ～いわてキャリア教育の視点にたった学習活動～ 岩手県盛岡市立大宮中学校　教諭　熊谷　詩子
司会	東京都町田市立小中一貫ゆくのき学園　校長　鈴木　元
指導助言	東京都教育庁指導部義務教育指導課　指導主事　福住　貴夫
運営	東京都中央区立晴海西中学校　副校長　種藤　博
記録	東京都世田谷区立駒沢中学校　主任教諭　金塚　崇

第６分科会：高等学校における就職などへの指導・援助の在り方	会場：416室
提案発表	「北海道小樽水産高等学校における進路指導について」 ～令和５年から７年度の活動記録～ 北海道小樽水産高等学校　教諭　成田　力 『淡路島の就職』島内指定求人について 兵庫県立洲本実業高等学校　主幹教諭　大山　博康
司会	東京都立調布北高等学校　校長　吉田　寿美
指導助言	東京都教育庁指導部高等学校教育指導課　指導主事　山口　瞳
運営	神奈川県立希望ケ丘高等学校　総括教諭　並木　俊恭
記録	東京都立小台橋高等学校　主任教諭　多田　早穂子

第７分科会：キャリア教育の計画と実践　（小学校）	会場：304室
提案発表	「知的障害（固定）特別支援学級におけるキャリア教育」 東京都荒川区立峡田小学校　主任教諭　松下　夏子 なりたい自分になるために学び続ける子どもを育む ～肯定的・対話的な関わりで学びをつなぐ教育課程の実践～ 福島県東白川郡棚倉町立棚倉小学校　前主幹教諭　小松　充恵 (現　福島県東白川郡棚倉町立社川小学校 教頭) 福島県東白川郡棚倉町立鍋倉小学校　教諭　佐藤　真理
司会	東京都大田区立相生小学校　校長　石川貴美子
指導助言	東京都教育庁指導部義務教育課　指導主事　宮本　俊宏
運営	東京都荒川区立第三瑞光小学校　副校長　上間　一蔵
記録	東京都府中市立矢崎小学校　主幹教諭　横田　恒

◆　分科会・研究協議　第２日目　７月２６日(金)９：００～１１：５０

小学校・中学校分科会：小学校・中学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決	会場：416室
	「未来を拓き、夢に向かって自ら生き方を創る児童・生徒の育成」 北海道紋別市立渚滑中学校　教諭　栗本　佳岳 {夢をもち、たくましく しなやかに生きる　子どもの育成 ～ 自己の生き方を見つめ、協働しながら深めるキャリア教育の推進 ～ 東京都 町田市立小中一貫ゆくのき学園 大戸小学校　主任教諭　永井 崇之 武蔵岡中学校　教諭　山中 教平
司会	東京都大田区立大森第七中学校　校長　佐藤　圭一
指導助言	上越教育大学教職大学院　教授　山田　智之
運営	東京都世田谷区立船橋希望中学校　主任教諭　山地　美夏
記録	東京都江戸川区立小岩第二中学校　主任教諭　平良　亮太

高等学校分科会：高等学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決	会場：417室
講演	「進路指導担当者が知っておきたい大学・キャリアの変化～年内入試から大卒就職まで」 講師　大学ジャーナリスト　石渡 嶺司　様
司会	神奈川県立茅ケ崎高等学校　校長　為成　雄司
運営	埼玉県立熊谷商業高等学校　教諭　町田　進一
記録	東京都立晴海総合高等学校　主幹教諭　桜井　伸一

★　全体研究協議会　第２日目　７月２６日(金)　１３：００～１６：００

全体協議：「学校におけるキャリア教育の推進」	会場：417室
パネリスト	**「各教科の特質に応じたキャリア教育の推進」** **～東京都町田市における事例から～** 町田市教育委員会 指導室長　大山　聡 町田市立南第一小学校　校長　安東 深雪 町田市立小中一貫ゆくのき学園　学園長　鈴木　元
運営・司会	上越教育大学教職大学院　教授　山田　智之
記録	大妻女子大学　教授　本田　周二

令和７年度　「キャリア教育研修講座」(全６回)のご案内

主　催　　公益財団法人日本進路指導協会
後　援　　文部科学省

この講座は、昭和２１年１０月　文部省、厚生省と職業指導協会(本協会の前身)が主催して開催された現職教員対象の職業指導講習会を起源としています。

その後、文部省(現　文部科学省)との共催または後援を受け、名称を変えながら今日に至っています。

今年度も、学校における進路指導・キャリア教育に関心のある方を対象に、実践、理論、キャリア教育にかかわる施策などを学ぶ研修会を開催いたします。

この研修会はどなたでも参加していただけます。どうぞご参加ください。

１．目的

全国の学校で進路指導・キャリア教育の推進、充実を強く求められている現状を踏まえ、それを実践・展開する上での基礎となる、知識・技術を向上させること。

２．開催日　(時間　１３：３０～１６：３０)

第１回：　６月１日(日)　　第２回：７月６日(日)　　第３回：９月７日(日)　　第４回：１０月５日(日)
第５回：　１１月９日(日)　　第６回：　１２月７日(日)

1	６月１日(日)	「キャリア教育って何だろう」 ～進路指導・キャリア教育の変遷～ 「キャリア教育って何だろう」～特別活動とキャリア・パスポート 公益財団法人日本進路指導協会　理事・東京音楽大学　客員教授　関本　恵一
2	７月６日(日)	「企業と学校を結ぶキャリア教育」 株式会社N.J.P　執行役員　キャリアマネージャー　塚田　薫
3	９月７日(日)	「小学校社会科で行うキャリア教育」 八王子市立船田小学校　主任教諭　梶原　勝 「発達障害の子供たちの就労について」 学校法人武蔵野東学園　武蔵野東高等専修学校　進路指導部部長　今城　慎一郎
4	１０月５日(日)	「小学校キャリア教育と学校経営」 町田市立南第一小学校　校長　安東　深雪 「サスティナブル・キャリアに基づく教育のデザイン」 上越教育大学大学院学校教育研究科　教授　山田　智之
5	１１月９日(日)	「高等学校の進路指導・キャリア教育」 東京都立小台橋高等学校　主任教諭　多田　早穂子 「中学校の進路指導・キャリア教育」 江戸川区立春江中学校　主任教諭　立入　僚之
6	１２月７日(日)	「高等学校の進路指導・キャリア教育」 東京都立晴海総合高等学校　主幹教諭　桜井　伸一 「複雑性・不確実性が高まる時代のキャリア教育の在り方を考える」 文部科学省教育課程課　教科調査官（中高・特別活動）　佐藤　学

3. 会場

◆ 荒川区立ひぐらし小学校　〒116-0013　東京都荒川区西日暮里２−32−５

最寄り駅　　ＪＲ　山手線・京浜東北線/京成線　「日暮里駅」　徒歩５分

ＪＲ　山手線・京浜東北線/東京メトロ千代田線　「西日暮里駅」　徒歩10分

4. 参加費　　無料

5. 申込方法

・ メール、FAX、はがき、電話、QRコード　のいずれかでお申し込みください。

・ [氏名] [〒、自宅住所、・電話] [所属・職名・電話番号] をご連絡ください。

6．問合せ・申込先

公益財団法人　日本進路指導協会

【住所】〒101-0054　東京都千代田区神田錦町１－８－１　親和ビル２階

TEL：03-5280-7013　　FAX：03-5280-7018　　E-mail：nihon-shinro@z-shinro.jp